

報道関係者 各位

新型インフルエンザ感染者の死亡について(139例目)

平成22年1月4日、愛知県名古屋市より、「新型インフルエンザ患者の死亡について」別添の通り情報提供がございましたので、お知らせいたします。

なお、患者の個人情報については、特段のご配慮をお願いいたします。

平成22年1月4日

市政記者クラブ 様

健康福祉局健康部健康増進課

(担当：渡邊、坂野)

電話：972-2636

972-2656

新型インフルエンザ患者の死亡について

平成21年12月29日(火)、名古屋市において、新型インフルエンザ感染患者の死亡が確認されましたのでお知らせします。亡くなられた患者様のご冥福をお祈りいたします。

なお、報道に際しては、お亡くなりになった方及び家族のプライバシーに充分配慮していただくとともに、医療機関への直接のお問い合わせは控えていただくようお願いいたします。本件は、市内の医療機関において7例目の死亡事例となります。

1 患者概要

名古屋市在住の68歳男性

多発性骨髄腫により、抗がん剤及びステロイド剤の治療中

2 死因

肺炎

3 経緯

患者は平成17年5月から多発性骨髄腫を発症。以降、数回にわたり抗がん剤治療を行ってきた。今般の入院は平成21年9月18日から

12月20日 午前、一過性の発熱38℃。以降、咳が出る。

12月21日 午前、解熱状態。胸部X線撮影により肺炎像を確認。
抗生剤投与。

12月24日 午前、発熱(37.9℃)。インフルエンザ簡易検査でA型陽性を確認。直ちにタミフルの内服を開始。さらに肺炎が増悪。

12月27日 午後になり、心肺停止状態となる。人工呼吸器による呼吸管理を開始。昇圧剤を使用。

12月29日 午前1時3分、死亡を確認。

12月31日 市衛生研究所におけるPCR検査(12月28日、検体採取)により、新型インフルエンザ陽性を確認。